

平成22年度 第3回 石狩市環境審議会 議事録

- 日 時 平成22年12月20日(月) 午前10時00分～12時00分
- 場 所 石狩市役所 3階 庁議室
- 案 件 石狩市環境基本計画の改定について(継続審議)
その他

- 出席者 石狩市環境審議会
会 長 長谷部 清 副会長 近 藤 哲 也
委 員 江 丸 悦 子 委 員 小野寺 一 登
" 熊 谷 テルヨ " 野 昭 夫
" 藤 井 重 行

事務局

市民生活部長 唐 澤 治 夫
環境室長 有 田 英 之
低炭素社会推進担当参事 藤 岡 修 一
環境保全担当主査 鍋 谷 英 幸
環境保全担当 前 野 加代理
日本データサービス株式会社 企画部 大 島 有 史

- 傍 聴 1名

事務局(有 田) 石狩市環境審議会を開催します。まず始めに、平成19年6月から環境審議会委員にご就任いただいております、石狩市連合町内会連絡協議会会長の越智一様が、今月1日にご逝去されました。この場をお借りして謹んでお悔やみ申し上げます。また、本日は、柴田委員が所要のため欠席となっております。

それでは、会長、お願いいたします。

長谷部 副会長 本日の議題は、石狩市環境基本計画の改定について(継続審議)です。
また、北石狩衛生センター運営検討会議の検討結果ついて報告をいただくことになっています。では、事務局から説明をお願いします。

事務局(有 田) 資料(第2次石狩市環境基本計画(案))の説明

長谷部 会 長 今回は、試案から精査されたものに加え、新たに資料編もありますので、お気づきの点や質疑等ありましたらお願いします。

野 委 員 P79などで、目標値の「増加」という表現が随所で出てきますが、基本的な考え方を教えてください。前回の案では、何らかの形で値を記述していたと思うのですが。

事務局(有 田) 基準等が定められているものは値を記述していますが、数字が積み上がらないものについては、抽象的ではありますが「増加」という表現にしています。

野 委 員 増加という表現は、目標値として頑張り甲斐、方向性を定めていけるのでしょうか？ プラス1でも満足できるものなのか、具体的な数字を付けるのが難しい項目もあるのかなとは思いますが、向かっていく意欲を高めるのは、具体的な行動の中でそれぞれが工夫をしていく、という理解でいいのでしょうか？

事務局（有 田） 個々の項目だけではなく、計画全体の中で成果目標、活動指標の項目を設定しています。活動指標は、成果目標を達成するための補助的な指標ということです。基本的には、成果目標は数字等が掲げられるものを挙げています。中には目標の数値化が困難で「増加」という表現に留めております。今回できるだけ目標とする項目数を増やして、施策を推進してまいりたいと考え、設定しました。

長谷部 会 長 前回から少し変わった表現がされていますが事務局の検討で多少は修正がなされているように思われます。

近 藤 副会長 P 7 5、7 6 の 3) 森林の保全・育成の事業者の役割で、市内の森林事業者は多いのでしょうか

事務局（有 田） 市には森林組合が 2 つと会社が 2 社あります。

近 藤 副会長 わかりました。

野 委 員 P 7 5 の 5) コンパクトなまちづくりの推進で、前回の中身とだいぶ変わっています。公共機関の充実を図るという文章も無くなっています。例えば、利便性を図るために公共機関の充実を図るということもありますし、C O 2 を削減するために公共機関の充実を図るという意味合いもあると思います。

事務局（有 田） 他の部分と重複している箇所については、入れてない場合があります。ご指摘の文については 1) 家庭・事業所の温室効果ガス排出量の削減に含めています。

野 委 員 「公共交通の利用促進」の表現ですね。しかし、「充実」と「利用促進」では意味合いでは、積極性、能動的な部分と受身の部分とで違いがあると思います。厚田、浜益地域でコンパクトなまちづくりとして地域内で生活できるようなまちづくりをすすめましようと言っても、滝川や石狩に出てこないといけない中で、交通機関の利便性の確保であれば、かなり積極的な表現になりますが、「利用促進」という表現では若干、消極的に感じます。公共交通機関の充実となればかなり積極的な表現に感じました。いろんな部分も含めて、もっと積極的な表現をされた方が良いのではないかという気持ちがあります。

長谷部 会 長 前回、分かりにくいとご指摘のあった、ストックの有効利用などの言葉が平たい表現に改まっているかと思いますが、そういうことで多少、積極さが欠けているのかもしれないかもしれません。私たちが指摘した点を考慮して、柔らかい文章になっているのかなとも思います。その他、何かありませんか？

野 委 員 P 7 3 の成果目標、前は「1 人あたりの家庭系ごみ排出量」だったんですが、今回は「市民」一人当たりの・・・ということで、「市民」が付け加えられています。あと P 7 9 の一人当たり二酸化炭素排出量も「市民」が付け加えられています。全般に、P 8 0 にも「市民」が多く表現されています。市民の範囲として、住んでいる住民としての市民と、市内に職場を有するとか住民という意味ではなく広い意味での市民どちらですか。

事務局（有 田） 市民一人当たりの場合、分母は人口になります。市民の行動といった場合は住民だけでなく、通勤通学の人も含めるということです。

野 委 員 家庭系ごみの場合は、住民という意味での市民でいいと思うんですけど、一人当たり二酸化炭素排出量というのは、通勤している人にも当然関わってくるのではないかなと思うのですが。

事務局（有 田） 現実的には、通過交通分も関わってきますが、実際には把握できないので、こういう場合は住民登録の人数になります。

近 藤 副会長 P 2 2 のあつたふるさとの森についてですが、これはいつ完成するのですか？

事務局（有 田） 現段階では目標年次は持っていません。

- 近 藤 副会長 あつたふるさとの森は、公園になるんですよね？ そうすると、表３．４の面積１２２．３ヘクタール＋２００で公園面積がものすごく増える。すでに進められているということはありますか。
- 事務局（有 田） 植樹などを行っております。表３．４に載っているのは都市公園ですので、あつたふるさとの森など都市公園以外の公園をカウントをするかについては、所管課と詰めていく必要があると思っています。
- 長谷部 会 長 Ｐ２３の下水道で、表３．５の処理量が１８年度から２１年度にかけて少なくなっていますね。処理量が減る原因があるのでしょうか？
- 事務局（有 田） 減ってきている原因については、把握していませんので水道部局に確認いたします。
- 近 藤 副会長 Ｐ２７の表３．８で、２０年度から２１年度にかけて人数が減っていますね。どういことが考えられるのでしょうか？
- 事務局（有 田） これは、ボランティア側の募集状況で参加人数が決まります。自主的なボランティア活動の一環としてやってもらっています。
- 近 藤 副会長 増減の理由が何かわからないと、増やしていく手立てがわからないですよ。２３団体は石狩市だけです？ 年間の延べですか？
- 事務局（有 田） 札幌も含めた、延べ数です。
- 野 委 員 Ｐ２７とＰ５８で、ボランティア清掃回数の数値が合わないのはなぜですか？ 実態把握と目標の流れがよくわからないのですが。
- 長谷部 会 長 団体数というのは多分、町内会組織など、数を把握しているのが２３団体ということですかね。同じ団体が春秋２回、あるいは毎月やっているということになると回数はもっと多くなりますね。それでその人数を数えていくと３千人になるとか。だから、３２年度の目標として、１１５回を２００～３００回に増加させたい、ということではありませんか？
- 事務局（鍋 谷） Ｐ２７の団体数は、２３団体が活動しているというよりは、同じ団体で春と秋に活動している場合は２団体とカウントしていますので、そういう意味では延べになります。Ｐ５８の１１５回は前回、越智委員から町内会を入れてはどうか、というご指摘を受けて、町内会清掃の分もカウントしています。
- 江 丸 委 員 Ｐ７５に再生紙の利用と書いてありますが、石狩市は再生紙を使っているのでしょうか？
- 事務局（有 田） はい、使用しています。
- 小野寺 委 員 Ｐ２９の表３．９で、平成１３年の西暦も記載していただければ親切かなと思います。平成１３年度に比べ、２０１０年は６％削減となると、比べるのに、平成１３年は西暦で何年かなと計算しないといけないものですから。他のところでもそういうことがあるかもしれません。
- 市の計画は、平成１３年は２００１年。議定書は１９９０年。どうして基準を２００１年にしているのでしょうか？
- 事務局（有 田） 地域計画は、その自治体独自で作るもので必ずしも京都議定書の基準年にこだわる必要はありません。２００５年の策定時に１９９０年にしなかった理由は、当時は、まだ石狩市が成長途上にあったということで、ある程度成長が留まった時点、２００１年平成１３年を基準年としました。表の下にも書いてありますが、平成２年１９９０年と比べると１．６倍になります。
- 小野寺 委 員 文章も平成１５年度、平成１３年度が混在しており、わかりにくい。
- 事務局（有 田） 表は、計画に載っている数字ですので、１５年に変えることはできません。文章を１３年にそろえるということで、検討します。

長谷部 会 長 データが引っ張り出せて、置き換えることができるようであれば、平成１３年にしてください。

近 藤 副会長 表３．９ですが、前後の文章を見ると元号がきて、西暦があるので、その順番をそろえた方がいいと思いました。

長谷部 会 長 他には何かありませんか？

Ｐ３３で、環境教育・環境学習に関する施策のさらなる充実と地域や学校における仕組みづくりが必要です、とありますが、石狩市としてはかなり積極的に取り組まれていることなのですか？たとえば町内会組織を活用するとか、学校に出かけていって、環境教育の講演会を持つとか。

事務局（有 田） まちづくり出前講座があって、希望があれば行きます。こちらから出向くこともありますけど、通常の場合は要望があれば、ということです。

長谷部 会 長 環境教育は落ち着いた時期に来ているので、積極的に取り組まないと廃れてくるといふ指摘があります。

事務局（有 田） 重点プロジェクトにも位置づけていますが、環境教育の方針を定める必要があると考えます。バックボーンが無いとその都度の思いつきでやられているものは長続きしないので、方向としては体系づけたいと思っています。

長谷部 会 長 環境基本計画については終わります。それでは、１０分休憩にします。

（休 憩）

長谷部 会 長 それでは、北石狩衛生センターの運営検討会議の資料説明をお願いします。

事務局（藤 岡） 資料（北石狩衛生センター運営検討会議検討結果報告書）の説明

長谷部 会 長 ただ今、説明をいただきましたが、質問等何かありましたらお願いします。

近 藤 副会長 Ｐ６の５）監視・チェック体制について、モニタリング職員というのは、市の職員ですか？

事務局（藤 岡） そうです。

近 藤 副会長 この冊子の中では、市の職員と公務サービスの職員とが出てきますが。

事務局（藤 岡） 基本的には、市の技術的な経験者を配置する予定としております。

小野寺 委 員 Ｐ６の４．民間委託の事業期間終了後の対応で、広域連携という言葉が出てきますが、こういう話はどこかに少しでもあるのでしょうか？他の自治体でどうだ、というようなことはあるのですか？

事務局（藤 岡） 石狩に限らず札幌市も江別市も、約４０％ごみの量が減少している状況であり、今後ごみがこのままの状態が減っていくと、単独で処理施設を維持していくことが難しいというのがあり、今後、検討していかなければならない課題です。

長谷部 会 長 現実にはそういうのが切羽詰まってこないと本気で取り組めない面もあるかもしれませんが、その他、無いようでしたら、これで終わりにさせていただきます。事務局で、次回とかあるいは今後の方針とかありましたらお願いします。

事務局（有 田） 今日いただいたご意見などを精査しまして、今月の２７日から３０日間パブリックコメント行います。

最終の審議会は、環境白書の報告と合わせて、２月から３月くらいにと考えています。次回は、答申という形になりますので、会長と打ち合わせをさせていただきたいと思います。

長谷部 会 長 以上のような報告であります。終わりといたします。ありがとうございました。

議事録を確認しました。

平成２３年１月１６日

石狩市環境審議会 会長 長谷部 清